

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年9月25日(木) 5校時
児 童 男子10名 女子16名 計26名
指導者 品 川 幸 子

- 1 単元名 だいじなことに気をつけて読もう
教材名 サンゴの海の生きものたち（説明的文章）

2 単元について

第1学年及び第2学年の「読むこと」領域の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元では、「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」（イ）を主たる目標としている。

本教材は、海の中という日常から離れた世界の生き物たちの共生関係について述べられており、内容的には難解な要素を含んでいる説明文である。また、登場する生き物の数も多く、相互関係もやや分かりにくいところがある。しかし、「始め」、「中」、「終わり」が明確であり、また、「始め」に述べられた記述から、手がかりとなる重要な語句を押さえたうえで、生き物がお互いに利益を与えていることを整理していくことにより、関係性が理解しやすくなるを考える。さらに、生き物に対する児童の関心が高く、本教材に登場する生き物に対しても親しみを持つものと考えている。したがって、文章構成の中で「始め」の持つ重要性に気づかせ、確実に読み取っていく方法を身に付けさせることに適した教材であると考えている。

児童はこれまで、「たんぽぽのちえ」の学習で、時間の順序や理由付けを示す言葉に着目し、様子とわけなどを考えながら読む学習を行ってきた。また、説明文のおおまかな文章構成についての学習も行ってきた。そのなかで、考えを述べるときや理由を述べるときの文末表現、順序をとらえる手がかりとなる接続詞などの表現の工夫についての学習を行ってきた。

説明文を読むにあたって、主語の理解は進んでいるが、述語は難しい。また、事柄の順序の読み取りや文の続き方を考えることも十分にできるとはいえない。日常の学習の様子からも、文章全体の構成を整理してとらえたり、筆者が述べたい事柄をとらえたりする力はまだまだである。

児童の国語科に対する意識を見ると、読書が好きな児童が多い。また、国語の授業を楽しんでいる児童が多く、先生や友達の話をしっかり聞いて、進んで発表しており、物語文や説明文の勉強の仕方が分かりがらんでいるとほとんどの児童が回答している。しかし、授業中、サイドラインをどこに引けばよいか分らなかつたり、何を書けばよいか分らなかつたりと、読み取る力が高まってきているとは言い難い。また、友達の発表を聞いて同じところや違いを見つけたり考えを深めたりすることは3分の1の児童ができないと答えている。自分たちはできていると思っているところは大切にしながら、友達の発表に対する考えを持てるように指導していきたい。

指導にあたっては、写真を活用しながらイメージをふくらませたり、読み取ったことを確かめさせたりしたい。また、海の生き物たちの関わり合いを動作化することで、児童の関心や興味を高めながら理解を深めて生きたい。そして、一つ一つの語句や表現に注意してサイドラインを引いたり、ワークシートに書き込んだりしながら、どの言葉に気をつけて読めばよいか、主体的に読む方法を身に付けさせたい。さらに、読み進めるなかで筆者の問いかけ、具体例、まとめという文章のまとまりを意識させ、「始め」、「中」、「終わり」という典型的な説明文の文章構成の順序性を理解させたい。

3 単元の目標

(1) 国語への意欲・関心・態度

- ・海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味を持って読もうとする。

(2) 読むこと

- ・「サンゴの海の生き物たち」が互いに役立っていることを事柄の順序を考えながら、読み取ることができる。(読イ)

(3) 言語についての知識・理解・技能

- ・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。(言イ)

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
海の生き物の共生関係や説明文の組み立てに興味を持って読もうとしている。	「サンゴの生き物たち」が互いに役立っていることを事柄の順序を考えながら読んでいる。	片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使っている。

5 単元の指導計画 (10 時間)

段階	時数	主な学習内容	評価規準と評価方法
第一次 見通す	1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見ながら海の生き物について知っていることや感じたことを話し合う。 ・全文を通読し、初発の感想を書く。 ・漢字や語句の学習をする。 	関 興味を持って読み、写真を良く見て気づいたことを発表しようとしている。(発表) 読 全文を読んで、初発の感想を持っている。(発言、ワークシート)
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・題名や初発の感想をもとに学習計画を立てる。 	関 大まかな文章構成をつかもうとしている。(発言) 読 話題提示の文より課題を捉えている。
第二次 深める	3	<ul style="list-style-type: none"> ・イソギンチャクとクマノミの特徴と関わり合いを読み取る。 	関 イソギンチャクとクマノミのそれぞれの生態についてとらえ、関わり合いについて吹きだしに書こうとしている。(発表、ワークシート) 読 イソギンチャクとクマノミの体の仕組みと、関わり合いについて読み取っている。(発言、ワークシート)

	4	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物たちになって、動いたり説明したりする。 ・イソギンチャクとクマノミの関わり合いをまとめる。 	<p>関 生き物たちの様子を表現しようとしている。 (動作化、発表)</p> <p>読 イソギンチャクとクマノミの関わり合いについて、お互い守りあっていることをまとめている。 (発言、ワークシート)</p>
	5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いについて読み取る。 	<p>関 ホンソメワケベラと大きな魚の特徴を捉え、関わり合いについて吹きだしに書こうとしている。 (発表、ワークシート)</p> <p>読 ホンソメワケベラの特徴と大きな魚との関わり合いについて読み取っている。 (発言、ワークシート)</p>
第三 次 ま と め る	6	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物たちになって、動いたり説明したりする。 ・ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いをまとめる。 ・海の生き物たちの関わり合いをまとめる。 	<p>関 生き物たちの様子を表現しようとしている。 (動作化、発表)</p> <p>読 関わり合いや感想を読み取ってことをもとにして書いている。 (ワークシート)</p>
第四 次 ひ ろ げ る	7 ・ 8 ・ 9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物について書かれている本を読む。 ・読んで分かったことをカードにまとめる。 ・お互いに読み合い、感想を発表する。 	<p>関 図書室で本を探し、生き物カードに書く材料を集めようとしている。 (態度)</p> <p>書 生き物について知りたいことを本を探して調べ、分かったことを「生きものカード」にまとめている。 (カード)</p>

6 本時の指導

(1) 目標

ホンソメワケベラの体の特徴と大きな魚とのかかわり合いを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	教師の働きかけと 予想される反応	個への支援と評価の観点(方法) ・留意点
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ホンソメワケベラと大きな魚たちは、どんなかかわり合いをしているのだろうか。</div>	1 前時の学習を確認する。 2 学習課題を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> 紙板書、写真を用いて想起させる。 「かかわり合い」とは、たがいに役に立っているという意味であったことを想起させる。
考える 7分	3 本時の学習場面を音読する。 4 ホンソメワケベラの体の特徴について読み取る。 ○ホンソメワケベラの体について書いてあるところを見つけてサイドラインを引きましょう。(一人学び) ・一人学びをもとに話し合う。	3 本時の学習場面を音読する。(⑦～⑨段落) 一斉読み 4 ⑦段落からホンソメワケベラの体の特徴を読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい青色の体 ・ 頭からしっぽにかけて黒いすじが一本 ・ 体の長さは12cmほど ・ サイドラインを引いたところを発表して確かめさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 読みの視点はかかわり合いであることを確認し、読ませる。 評 体の特徴を読み取っている。(サイドライン) ・ 魚の写真を見せて、具体的にイメージできるようにする。
深める 28分	5 ⑧段落からホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取る。 ○なぜ、大きな魚たちはホンソメワケベラを食べないのですか。わけを見つけてサイドラインを引きましょう。(一人学び) 6 ⑨段落から大きな魚とホンソメワケベラとのかかわり合いについて読み取る。 ○ホンソメワケベラは何のためにそうじをしているのですか。分かるところにサイドラインを引きましょう。(一人学び)	5 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取らせる。 ⑧段落の写真から普通想像することを出させてから、「でも」の働きに気づかせる。 ・ 体や口の中についた虫を、ホンソメワケベラにとって、きれいに掃除してくれるのをしているから。 6 ⑨段落「そうじ魚」という言葉で、⑧段落とつながっていることを捉えさせる。 ・ 掃除をしてとった虫が、食べ物になる。	支 「～からです。」の文末表現に着目させ、理由を述べる文であることに気づかせる。 評 理由を自分で読み取り、サイドラインを引いている。(サイドライン) 支 「～のです。」の文末表現に着目させ、理由を述べる文であることに気づかせる。

	7 課題について分かったことや考えたことをまとめる。 ○ホンソメワケベラと大きな魚はおたがいになんて言っているでしょう。ワークシートに書きましょう。	7 課題について話し合ったことをもとにワークシートに自分の考えを書かせる。	評 理由を自分で読み取り、サイドラインを引いている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>具体の評価規準</p> <p>A: ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いが分かるように、自分の考えも加えてワークシートに書いている。</p> <p>B: ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いが分かるようにワークシートに書いている。</p> <p>Cへの支援: ホンソメワケベラが掃除をする理由に着目させる。</p> </div>			
	8 一人学びをもとに学び合いをし、まとめる。	8 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてまとめさせる。	
まとめ 5分	9 学習のまとめをする。	9 本時の学習を振り返らせ、学びを確かめさせる。 ・感想を発表する。 ・順番読み	・ 課題が達成できたこと、ワークシートに学習したことを書けたことを認める。
	10 次時の学習について確認する。	10 学習内容を知らせる。	

7 板書計画



